

地域の持続可能な発展事業 ～がんばろう森本商店街「SDGs宣言」～

団体名 ● 新ゼミナール / 代表者名 ● 新広昭 (副学長・経済学部教授)

はじめに

本事業は、金沢市の東部に位置する森本商店街の事業者で組織する森本商店街振興会(以下、振興会)が同商店街を“SDGs商店街”としてアピールすることにより、森本地域の持続可能な発展に寄与する目的で、昨年度から取組んでいるものであり、取組みを進めるにあたっては、2021年9月に本学と振興会との間で取り交わした覚え書きに基づき、SDGs×地域創生をテーマにゼミ活動を行っている新ゼミナールと連携して進めている。

活動内容

本事業の内容は大きく分けて次の2項目である。

①8月18日と19日に振興会会員の16事業所の店舗に新ゼミナールの学生が赴き、インタビュー調査を行い、店舗ごとにSDGsの取り組み目標を定めSDGs宣言書を作成した。この宣言は12月～1月に石川さんアプリを使って実施した「がんばろう森本商店街SDGsクイズラリー」のクイズとして利用した。



SDGs宣言のポスター

森本商店街SDGs宣言

№	店舗名	SDGs番号	ロゴ	宣言
3	模範ハウジング	3, 15		木製や有害物質が少ないなど環境に配慮されている素材を使っているなどSDGsに取り組んでいる企業の家賃を優先し、販売しています。ごみ分別やリサイクルを徹底して安心して長く使ってもらえるよう、キッズスペースを整えるなどの環境を整えています。
		12		良いものを安心して長く使ってもらえるよう、不要なものの引き取りや修理・再生を行うことで、循環型社会づくりに貢献します。
		5		地域を愛護し、伝統的な価値を守り、ひいては道徳的な生活・文化を支えることに貢献します。森本商店街は、2019年ユネスコの「無形文化遺産」に登録されている、遊佐屋敷の女性によって手鞠ひかれた屋敷縁起。
4	金城タワラー(本社)	11(大)、3(小)		安全かつ安心で持続可能な交通手段を提供し、人と地域、企業、文化の交流を促進します。高齢者の移動や体の不自由な方をサポートできる車両設備を整え、誰もが安心して移動できる手段を提供することで、住み続けられる地域づくりに貢献します。
		5		女性従業員の積極的な採用を行い、女性の活躍推進に取り組んでいます。
5	森本内装	3(大) 11(小)		保温効果やアロマテラピー効果など副効果のあるいくさを使った畳を提供しています。お客様には水や塵埃に強い畳を提供することで、快適な暮らしをお届けします。
		12		リフォーム工事は、使えるものはなるべく再利用しています。お年寄り向けに、畳のヘリを使ったベンチやバック作り体験を行っています。

店舗ごとのSDGs目標(一覧表)



クイズラリーの TVCM

②今年度事業の取りまとめとして、今回の調査結果を基にSDGs商店街の先行事例である北九州市の「魚町銀天街」との比較分析を行い、そのアウトプットとして森本商店街のブランド化に向けた「森本商店街SDGsツアー」の提案を行った。比較分析にはRESAS(地域経済分析システム)を活用した。

この取組みの成果は、環境省中部地方環境事務所所管の中部地方ESD活動支援センターが主催して2月19日に開催された「SDGs学生サミット」でプレゼンした。



SDGs学生サミットチラシ

成果、結果の考察

本事業には北陸放送、石川テレビも参画しており、ニュース、テレビCM、SDGsの特集番組などに取り上げられ、他の商店街からも注目されるなど認知度は向上したと考えられる。また、商店街を構成する中小企業者と学生とが共に気づきと学びを得、地域に協創価値を提供できたのではないかと思います。

今後の課題、展望

森本商店街の取組みは森本商店街のブランド化に向け次のステップに向かう必要があると考えられ、新ゼミとしてさらに連携取組みを行っていききたい。